



**追浜地区**  
主に自動車関連の貨物を取り扱われています。背後には、工場や研究所などの企業が立地しています。



**「海に森をつくらうよ!コアマモ植え付け体験会」**  
追浜地区の浅海域は、普段人が立ち入れないため、貴重な東京湾の環境が守られています。ブルーカーボンの取り組みとして、日頃から海のエコ環境保全藻場の再生に取り組んでいる「よこすかの市民会議」の協力のもと、「コアマモ植え付け体験会」を小・中・高生を対象に開催しました。子どもたちに海の環境や藻場の大切さを知ってもらうこと、コアマモの苗根を移植し藻場面積を広げることを目的としています。



**JAMSTEC**  
海上自衛隊 横須賀地方隊司令部  
海上自衛隊 横須賀地方隊司令部  
海上自衛隊 横須賀地方隊司令部



**新港地区**  
SOLAS条約に基づいた国際ふ頭があり、完成自動車の輸出や水産品の輸入が行われています。新門司(北九州港)との間にフェリーが運航し、首都圏~九州間の交通・物流ルートとして利用されています。



**東京九州フェリー**  
マグロ船



**立石**  
立石・秋谷海岸



**(仮称)横須賀港新港地区公有水面埋立事業**  
東京湾口部というポテンシャルの高い立地に計画しています。北九州とのフェリー航路以来、貨物量の増加により既存の港湾施設の不足が課題となっています。将来的に、港湾が地域経済を支えていくことを目的として、この埋立事業により、物流機能の充実を図ります。市街地に近いことから、港湾緑地の配置や環境共生護岸の検討など市民に親しみやすい環境を目指します。



**新港地区**  
平成地区



**うみかぜ公園**



**海辺つり公園**



**浦賀の渡し**



**高潮対策事業(芦名地区)**



**天神島**



**武山**



**侵食対策事業(北下浦・野比地区)**



**浦賀の渡し**



**浦賀駅周辺地域活性化事業**



**ミニストーン工法による藻場造成(長井)**  
相模湾沿岸では、「磯焼け」が顕著となっています。「海藻をこれ以上減らさない」ための食害生物の駆除と同時に「海藻増やす」取り組みを行い、藻場回復を目指しています。海底の岩盤にあらかじめカジメを取り付けた「ミニストーン」と呼ばれるブロックを設置し、そこから放出されたタネが周囲の岩盤に着生することで、新たにカジメが成長することが期待されます。



**三浦市 MIURA**



**津久井浜海岸**  
「ウィンドサーフィンワールドカップ開催地」



**ウインドサーフィンワールドカップ**



**東京湾フェリー**



**ペリー公園**

# 海でつながる、人・モノ・未来

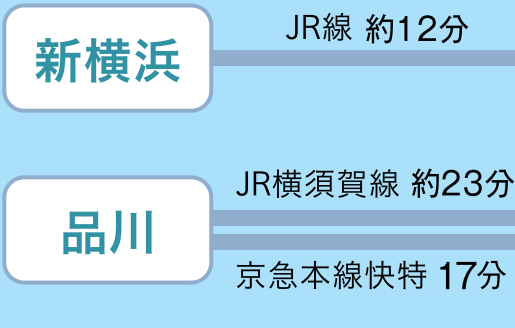
## YOKOSUKA

**久里浜地区**  
東京湾の入口に位置し、地震に備えるための「耐震強化岸壁」が整備され、ふ頭内の一部は国際貿易に対応しています。浜谷港(千葉県)との間にフェリーが運航しています。2018年には、新しい観光や地域振興の拠点として「みなとオアシス「ペリー久里浜」」に登録されました。



横須賀方面への入口、横須賀方面からの出口のみです。

**■電車をご利用の場合**



**■車をご利用の場合**

